

おひさま ニュース

2024

新年号

1月15日発行



ホームページ

予約センター
(日曜・祝日除く)

☎0470-25-5121

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地 TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

change is fun! ～次のステージへ～

社会福祉法人太陽会

理事長 亀田信介



2023年の出生数は73万人を切ると言われ、一方死亡数は160万人前後と予想されています。つまり出生数から死亡数を引いた自然減は85万人を超えています。そのような中でも東京の人口は1,400万人を超え増加が続いています。

安房地域における人口減少と少子化、高齢化問題はさらに深刻です。2015年に約13万人だった安房の人口は、2025年には約11万人、2040年には約9万人へ減少すると予想されています。また年齢別の人口では、2025年には0～14歳の人口を、85歳以上の人口が上回り、高齢化率は44%に達すると予想されています。

このような状況で、2024年度は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が行われます。昨年より物価の高騰が続く中、診療報酬や介護報酬の改定は行われず、2023年度は経営的に非常に厳しい年となりました。当然今回の改定を期待したいところですが、長寿、人口減少、円安、低成長の中、厳しい改定となる予想です。特に、当院のような急性期病院は、平均在院日数の大幅な短縮や医療看護必要度の増加が求められると思われます。しかし当院は高齢者の救急入院、特に独居や貧困など社会的背景が困難な症例が

多く、長期入院になってしまう患者さまも少なくありません。とはいえ、急性期病院としての要求事項をクリアできなければ、救急医療を始め、現在の病院機能を維持できなくなる可能性があります。地域にとって当院の医療機能は非常に重要であることは言うまでもありません。まずは、患者さまをはじめ、地域の医療機関や介護施設、さらには行政に、私どもの置かれた状況を理解していただき、連携し在院日数の短縮を図る必要があります。

さらに、将来に向けたプロジェクトをスタートさせます。まずは、当院の強みである健診・検診事業の拡充を図るため、健診センターの新築を計画しています。住民健診や企業健診に加え、今までニーズに対応しきれなかった人間ドックにも力を入れ、新たな開拓にチャレンジしようと考えています。これに引き続き、現在の健診センタースペースには、眼科外来を新設する予定です。高齢者にとって眼科のニーズは非常に高く、入院を必要としない手術が多く、入院しても非常に短期間です。さらに、泌尿器科、乳腺科、肛門外科などの充実を図り、経営の安定と平均在院日数の短縮に繋げようと考えています。

新年から重い話になってしまいましたが、ピンチはチャンスです。このような時こそ、知恵を出し合い、力を合わせ乗り越えれば、必ず素晴らしい未来に繋がると信じています。

変化を恐れず、変化を楽しみ、未来に向かって進んでゆきたいと思います。
change is fun!



診療科のご紹介

内科系				外科系		その他系
総合診療科	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	腫瘍内科	甲状腺外来	外科	乳腺科	救急科
呼吸器内科	膠原病内科	脳神経内科	健診外来	整形外科	スポーツ整形	透析科
消化器内科	小児科	糖尿病甲状腺内分泌内科		泌尿器科	皮膚科	麻酔科
循環器内科	腎臓内科			婦人科	脳血管内治療科	リハビリテーション

スポーツ整形

私は2023年フランス・ラグビーワールドカップロスがいまだに続いています、みなさまいかがお過ごしでしょうか。



今回はスポーツ整形外来について紹介します。時々「スポーツをしていないけれど受診してもいいのですか？」と患者さまから質問を受けます。もちろん、受診いただいて問題ありません。

スポーツの由来はラテン語の「deportare(運搬する)」という単語です。それが転じて日々の生活から離れること、すなわち気晴らしや楽しみという言葉に派生したようです。由来のとおり元来スポーツは楽しみを生み出すものですが、残念ながらケガがつきものです。スポーツのケガには骨折もありますが、多くは筋肉や靱帯のケガ、もしくは関節周囲の痛みをきたすことが

しばしばあります。そういったときにスポーツへの復帰を目指す科としてスポーツ整形はできました。

当院のスポーツ整形外来は理学療法や注射をはじめとした保存加療をベースに、体への侵襲(負担)が少ない関節鏡や関節温存手術などをメインに患者さまを治療していきます。このような考えのもと、当科では年齢やスポーツの有無に関わらず幅広く治療を行っており、特に肩や膝の治療を受ける患者さまが多くいらっしゃいます。痛みがなかなか良くならない方は一度外来にお越しください。

たかざわしゅうぞう

高澤修三

出身地：埼玉県

趣味：ラグビー観戦

房総の好きなところ：海の景色



医療・福祉相談室より ④



身体障害者手帳について

医療ソーシャルワーカー 川名菜月

みなさんは身体障害者手帳(以下：身障手帳)をご存知でしょうか？

身障手帳は障がい(心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう直腸・小腸などの内部障害や視覚・聴覚または平衡・音声・言語・そしゃく・肢体不自由等)をお持ちの方の日常生活の負担を軽減する目的で交付される手帳です。身障手帳を取

得すれば、各種税金の控除や、医療費助成、公共交通機関等の割引、障害福祉サービス、補装具や日常生活用具の給付、障害者雇用支援など様々な制度が利用できます。ただし、障がいの種類・程度によって受けられる制度は異なりますのでご注意ください。

申請窓口は市区町村ですが、ご不明な点があれば当院医療・福祉相談室へ気軽にご相談ください。

次回からは健診コラムです。お楽しみに！



大規模災害訓練

日本 DMAT 隊員 長谷川 努
災害支援ナース

近年、地球温暖化の影響もあり、台風や線状降水帯による風水害が甚大となっています。当院は千葉県の災害拠点病院に指定されていて、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担うことが求められています。そのため、毎年地域のさまざまな被災状況を想定した訓練を行っており、2023年度は10月14日に実施しました。

災害医療は、被災によって電気や水道などのライフラインが途絶えたり、物品の流通が滞るなかで、限られた資源を使って医療を行う必要があります。また、医師や看護師などの医療従事者も地域住民の一人であり、被災者となって通常の勤務が行えない状況も考えられます。このように、災害時には物や人が限られ、医療資源が乏しいなかで多数の傷病者から一人でも多くの命を救うことが求められるのです。これらのことをふまえ、訓練は、台風による被災2日目、館山市、南房総市、

鋸南町、鴨川市で大規模な

停電が起こり、当院は非常電源のみで診療を継続しているという想定で行いました。

外来部門で

は正面玄関にトリアージエリア(災害時の治療優先順の選別区域)を設置し、診療エリアも緊急度に合わせて赤・黄・緑のエリアに分け、台風被害に関連した多数傷病者を受け入れる訓練を行いました。

病棟部門では、非常電源での入院患者さまの治療継続と新たな被災患者さまを多数受け入れるための机上シミュレーションを行いました。

また、災害対策本部を立ち上げ、院内の情報を整理したり、衛星電話を使用して各自自治体と連携したり、EMIS(広域災害救急医療情報システム)を使用した情報の発信と収集をするような訓練も行いました。

2019年の台風15号以降、コロナ下の影響で訓練は縮小していましたが、今回は職員140名、看護学生23名のほか、安房保健所、館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、安房消防、千葉DMAT(災害派遣医療チーム)の方々総勢180名が参加し、大規模訓練を実施できました。

災害は他人ごとではありません。当院は各自自治体や団体と協力し、災害医療に努めて参ります。



トピックス

乳腺科のご案内

2023年10月より常勤の関
奈紀医師が着任しました。診
察日が増えたことに加え、手
術や化学療法が可能となりました。

角田ゆう子常勤医師や非常勤医師数名と、より充実した診療体制を整え、地域のみなさまに専門性の高い医療の提供を目指します。

乳房のしこりや乳頭分泌物、乳房・乳頭の変形やひきつれなど、気軽にご相談ください。

外来診察日

※赤字は女性医師

	月	火	水	木	金	土
午前		関				関 高田 各医師
午後	角田	角田 第1・3・5			阿部 第2・4	

診察室扉の表示リニューアル

各診察室の情報をよりわかりやすくお伝えするために、表示を新しくしました。本日の診療科(日本語と英語表記)、担当医師、現在診察中の予約時間枠が表示されています。

当院の診察室は、日にちや曜日、午前・午後の時間帯で診療科や担当医師がかわります。受診される診察室は、受付の際に渡されるファイル

(外来基本スケジュール)に記載された診察室番号と各診察室の表示をあわせてご確認ください。

整形外科 診察室

Orthopedics

Examination Room

担当医師 福内 正義

只今 9:00 ~ 9:30 予約の方を
診察中です。

上記以前の予約時間の方はお申し出下さい

編集
後記

おひさまニュース
バックナンバー

数年ぶりに災害実動訓練が実施されました。令和元年の台風による被災経験から、参加者の取り組み方は以前にも増して熱が入るようになりました。コロナ下で行われていた机上訓練での課題等を実動訓練によって確認するなど、院

アワ カフェ プロジェクト awa-cafe Project ワークショップ

医師・看護師・コメディカル・事務員などの職員が健康をテーマに活動しているボランティアチーム

awa-cafe Projectは、11月12日(日)に開催された「北条海岸BEACHマーケット」にキッズワークショップ～医療・看護体験～を出店しました。

参加したキッズは心臓に見立てたクッションを使った胸骨圧迫(心臓マッサージ)、包帯の巻き方、応急処置クイズ、オリジナル葉袋づくり



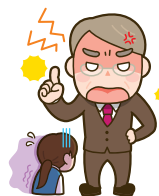
など医師やスタッフと一緒に初めての体験に興味津々でした。当日は、「館山チアアップ・千葉県誕生150周年記念パレード」も行われ、大勢の人たちでにぎわいました。

暴言・暴力・迷惑行為 への対応について

安房地域医療センターでは、来院患者さま及び職員を守るために、暴言・暴力・迷惑行為が

発生した場合は、組織的対応を取らせていただきます。また、暴言・暴力及び迷惑行為があった場合は、退去命令や、警察の介入を依頼することがあります。ご理解をお願いいたします。

詳細については、当院ホームページや、院内掲示をご覧ください。



外の関係各所も加わり大がかりなものでした。改めて訓練の大切さを認識する機会となりました。

今年も身近なことに目を向け、役立つ情報の発信に努めます。

じゅんべりい

